

会社の概要

(2020年9月30日現在)

会社概要		
商号	株式会社学研ホールディングス (英文表示 GAKKEN HOLDINGS CO.,LTD.)	
設立	1947年3月31日	
資本金	18,357,023,638円	
	〒141-8510	
本店所在地	東京都品川区西五反田二丁目11番8号 TEL. 03-6431-1001 (代表)	
ホームページURL	https://ghd.gakken.co.jp/	

取締役・監査役・執行役員			(2020年12月25日現在)		
地位	氏名		地位	氏名	
代表取締役社長	宮原 博昭		常勤監査役	景山 美昭	
常務取締役	福住 一彦		常勤監査役	中村 雅夫	
常務取締役	碓 秀行		社外監査役	山田 敏章	
常務取締役	小早川 仁		社外監査役	長 英一郎	
取締役	安達 快伸		上席執行役員	勝野 哲也	
取締役	影山 博之		執行役員	小林 徹	
取締役	五郎丸 徹		執行役員	田中 薫	
取締役	百田 顕児		執行役員	川端 篤	
取締役	山本 教雄		執行役員	渡辺 悟	
社外取締役	山田 徳昭				
社外取締役	城戸真亜子				
社外取締役	伊能美和子				

執行役員選任理由	
川端 篤氏	川端 篤氏は、取締役会で決定した戦略に基づき、当社グループの中核事業として成長、拡大している教育サービス事業の執行責任者としての役割を果たすため、執行役員に選任いたしました。
渡辺 悟氏	渡辺 悟氏は、取締役会で決定した戦略に基づき、当社グループのDX戦略の執行責任者としての役割を果たすため、執行役員に選任いたしました。

Gakken 学研ホールディングス

株主メモ		
事業年度	毎年10月1日～翌年9月30日	
定時株主総会	毎年12月開催	
基準日	定時株主総会	毎年9月30日
	期末配当金	毎年9月30日
	中間配当金	毎年3月31日
単元株式数	100株	
公告方法	電子公告 https://ghd.gakken.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社	

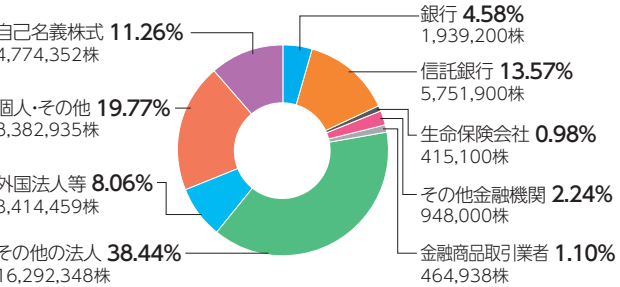
株式についてのお問い合わせ：三菱UFJ信託銀行 証券代行部

☎0120-232-711

オペレータ対応 受付時間 平日のみ／午前9:00～午後5:00

株式の状況	
発行可能株式総数	159,665,600株
発行済株式の総数	42,383,232株
株主数	16,907名

所有者別株式分布状況



株主通信 Gakken Value Report

株主優待カタログ付

P1～P6 第75期報告書 2019年10月1日～2020年9月30日

P7～P14 株主優待カタログ

※100株以上保有の株主様が対象となります。株主優待お申込み期限 2021年2月12日(金)

第56回全国児童才能開発コンテスト 図画部門 高学年の部 文部科学大臣賞 作品
【題名】小さな おうち 栃木県 下野市立祇園小学校 5年 原 夢乃さん

全国児童才能開発コンテスト

昭和38年に制定され、以来毎年行われている顕彰事業です。全国児童の「豊かな感性・情操」を養うとともに、児童の基礎学力である「文章による表現・コミュニケーション能力」「創造的な表現力」「科学的な思考力」を育て、小学生の文化的・科学的才能の育成を目指しております。

株式会社学研ホールディングス



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第75期(2019年10月1日～2020年9月30日)株主通信をお届けいたします。

当社グループは2018年11月策定の2ヵ年計画「Gakken 2020」に基づき、中長期的な成長と株主・投資家重視の経営目標達成を目指してまいりました。

当連結会計年度の連結業績は、売上高143,564百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益5,075百万円(前年同期より551百万円増)、経常利益5,273百万円(前年同期より518百万円増)、親会社株主に帰属する当期純利益2,321百万円(前年同期より381百万円増)となりました。

世界的に拡大が続く新型コロナウイルス感染症は、国内外に大きな影響をもたらしました。コロナ以前とコロナ後では社会の在り方が変わり、これまでとは異なる新たな事業の展開を見据えていかなければなりません。

私たち学研グループは、こうした環境下においても、「コロナ禍後の復興は教育と医療福祉においてほかにない」という姿勢で、新たな中期経営計画「Gakken 2023」の達成を目指し、株主・投資家の皆様重視の経営を続けてまいります。

なお、当期の期末配当は、当初のお約束通り10円で実施いたします。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月

代表取締役社長

宮原博昭



Creative Challenge

グループ理念

私たち学研グループはすべての人が心ゆたかに生きることを願い今日の感動・満足・安心と明日への夢・希望を提供します

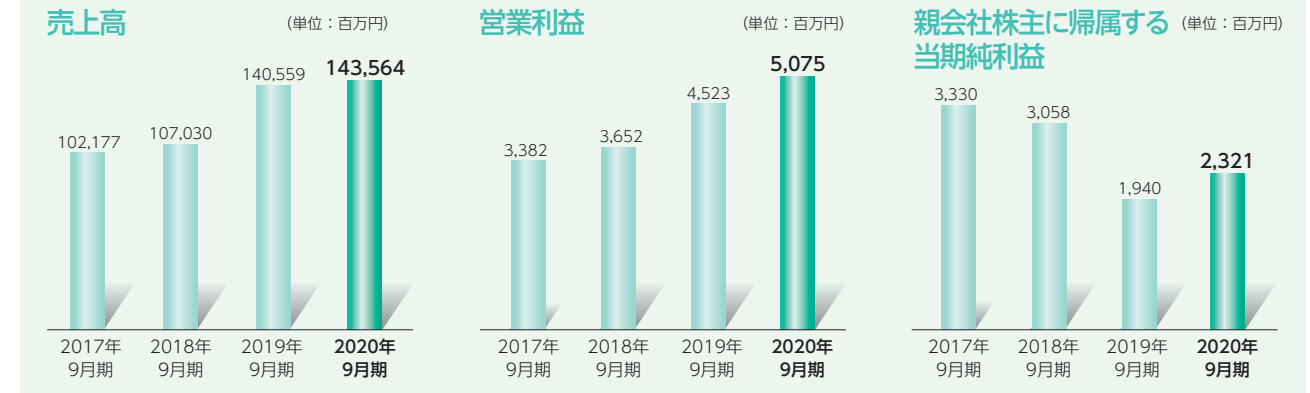
グループビジョン

想像の先を、創造する

Gakken Spirit

- 知る** 広い視野で未来を見据え、深く市場と顧客の心を知ろう
- 挑む** 高い目標を掲げ、強固な意志を持って、迅速に挑戦しよう
- 創る** 自由かつ斬新な発想で、新しい価値を創り出そう

財務ハイライト



セグメント情報

教育サービス (学研教室, 進学塾など)

小学校英語教材が全面リニューアル!

売上高	32,969百万円	(前年同期比3.7%減)
営業利益	424百万円	(前年同期比545百万円減)

+ 家庭学習需要の増加により教材出版事業が増収増益
 - 学研教室事業 新型コロナウイルス感染症の影響による休会者の増加等で減収減益
 - 進学塾事業 オンライン授業を立ち上げ事業継続を図ったが生徒数減により減収減益

教育コンテンツ (出版, 電子出版, 雑貨など)

「最強王図鑑」シリーズ 累計100万部突破!

売上高	26,643百万円	(前年同期比5.9%増)
営業利益	1,440百万円	(前年同期比898百万円増)

+ 新型コロナウイルス感染症拡大で家庭学習需要が増加したことにより増益
 + 医学看護事業(医療福祉サービスセグメントから移管)は堅調に推移したが、イベント自粛による販売機会減で前年同期並み

教育ソリューション (幼稚園・保育園用品, 学校用品など)

教科書・指導書の売り上げ増
 *写真(小学校教科書指導書セットです)

売上高	19,098百万円	(前年同期比0.1%増)
営業利益	425百万円	(前年同期比64百万円増)

+ 小学校教科書採択等により増益
 + アイ・シー・ネット株式会社の連結加入により増収
 - 幼保休園、幼児教室休業、受注減等により減収減益

医療福祉サービス (サービス付高齢者向け住宅, グループホーム, 保育所, 医学・看護書籍など)

学研の療育施設「クロッカFujisawa SST」がオープン

売上高	60,786百万円	(前年同期比9.7%増)
営業利益	2,562百万円	(前年同期比63百万円増)

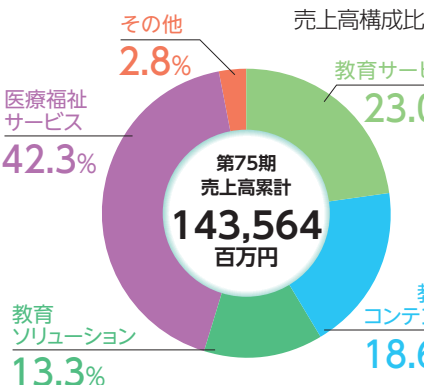
+ 感染拡大防止策の徹底したサービス提供などにより、増収
 + 学童保育運営受託、コスト管理改善により増収増益
 + グループホームの入居率好調維持で増収
 - グループホームの給与改定、人材充足による人件費等費用負担増で減益

その他 (物流など)

物流事業が好調

売上高	4,067百万円	(前年同期比16.2%増)
営業利益	225百万円	(前年同期比94百万円増)

+ 物流事業の売り上げ増により増収





教育サービス

英語教材で、幼児の英語力向上を実証！

玉川大学大学院・佐藤久美子教授と学研エデュケーショナルの共同研究で、学研教室の英語教材を使い、幼稚園児を対象に1年間の検証授業を行いました。

学研教室の英語教材は、幼児から4技能学習（聞く・話す・読む・書く）を取り入れています。検証の結果、総合的な英語力の向上が期待できるという結果が出ました。「聞き取りや発音が良くなった。」「英語に興味を持つようになった。」といった感想も多く寄せられました。



小学館アカデミー、イーコラボを事業譲受

株式会社小学館集英社プロダクションが運営する、小学生・中学生を中心とした学習教室「小学館アカデミー」と、幼児・小学生の英語力を育成する英語教室「イーコラボ」の一部教室を、2020年4月に運営事業を譲受しました。

優れた指導システム、ノウハウを持つ小学館アカデミー、ならびにイーコラボ事業を取得することで、子どもたちの学びの場を拡大しつつ、教育内容の一層の充実を図ってまいります。（学研エデュケーショナル）

教育ソリューション

ラオスで学研教室のトライアル

ラオスで学研教室のトライアルプロジェクトをスタートしました。ラオスの保護者が子どもに学習させたい教科の1つである算数を小学2年生に教えています。今回の事業で学研教室の有用性を示し、今後の本格的な海外展開にはずみをつけたいと考えています。（アイ・シー・ネット株式会社）



教育コンテンツ

「10歳までに読みたい名作」200万部突破

「10歳までに読みたい名作」シリーズが、累計200万部を突破いたしました。現代の子どもたちに名作の魅力を届けられるよう、親しみやすいカラーイラスト×ベテラン作家陣による質の高い文章で構成したシリーズで、2020年10月現在、「世界名作」28巻、「日本名作」12巻、「名作ミステリー」10巻を発刊しています。（学研プラス）



「藤井弁当」第7回「料理レシピ本大賞」準大賞受賞



料理研究家・藤井恵氏の毎日ムリなく作り続けるためのお弁当本。「ワンパターンで良い！」と、卵焼き器ひとつで手軽にお弁当を作るという潔い内容が読者の支持を得て、現在15万部を突破！書店では書店員が実際にお弁当を作った写真をポップにするなど店頭を巻き込んだ盛り上がりとなり、9月にはみごと「料理レシピ本大賞」準大賞を受賞しました。（学研プラス）

ヒロシのソロキャンプ本が大ヒット

「ヒロシです。」でおなじみの芸人ヒロシ。いまはソロキャンプの模様を公開するYouTuberとしても活躍。登録者は100万人を超えています。そんなヒロシ初のソロキャンプ本を発刊。コロナ禍で密を避ける流れからソロキャンプが注目され、その第一人者であるヒロシにメディアが集中。累計7万部を超える大ヒットとなりました。（学研プラス）



教育ソリューション

「一般社団法人 幼児教育保育用品協会」設立



学研教育みらいは、4月に「一般社団法人 幼児教育保育用品協会」を、フレーベル館・世界文化ワンダー販売・ひかりのくに・チャイルド本社・ジャクエツの同業5社とともに設立しました。学研教育みらい・小林徹社長が理事に就任（代表理事はフレーベル館社長）。幼稚園・保育園・認定こども園市場の変化が著しい現況に対応するため、遊具等の安全基準の統一や月刊総合絵本の普及活動、園向けの教材・備品の整備ガイドラインの策定等、様々な活動に取り組みます。

幼児教育界において著名な有識者を理事としてお迎えし、様々なアドバイスを受けるとともに、幼稚園・保育園団体との連携・情報交換も視野に入れ、幼児教育・保育市場の拡大と安定を図ります。

今後は、協会を構成する各社の取引先など、幼児教育・保育業界に関わる企業・団体にも加入を呼びかけ、規模拡大を図る予定です。

コミュニケーションアプリ「ハグノート」の全国展開

ソフトバンク株式会社の子会社、hugmo（ハグモー）と学研教育みらいとの協業にて、「hugnote（ハグノート）」を全国の幼保園に販売しています。ハグノートは、わが子の出欠連絡、また、園から保護者への一斉連絡が、簡単に、円滑に行えるアプリです。先行き不透明なコロナ禍において「幼保園と保護者の円滑なコミュニケーション」から、「園児の安全で安心な生活」が約束されるよう、貢献してまいります。



医療福祉サービス

サ高住で介護記録ICT化スタート

学研ココファンは、運営するサービス付き高齢者向け住宅において、介護記録のICT化をスタートしました。現場の負担軽減と業務の効率化、また業務効率化で生まれた時間をご入居者とのコミュニケーションに充てるなど、ご入居者のさらなる満足度向上を目的としています。今後も介護現場の課題解決、サービス品質向上の取り組みを促進していきます。



グループホーム全国270事業所で介護記録を電子化



全国のグループホーム約270事業所で、介護記録システム「Notice」を9月より導入しました。メディカル・ケア・サービス株式会社（MCS）は、ICT化の促進により、エビデンスに基づいた認知症ケアの革新を目指しています。「Notice」で蓄積したデータを基に、ご利用者の症状や言動・状態など、個別ケアの分析を行うことで、現在注力している「自立支援ケア」への活用や、より専門性の高い認知症ケアにつなげていきます。

令和2年「障害者雇用優良事業所等の厚生労働大臣表彰」を受賞

厚生労働省が9月の「障害者雇用支援月間」にあわせて毎年行っている、「障害者雇用優良事業所等の厚生労働大臣表彰」を受賞しました。

MCSは福祉的就労をベースに、時間をかけて障害者本人の働く力、社会人としての習慣等を育成し、状況に応じて一般就労に切り替えるというスキームが確立しています。そういった点が、障害者本人とそれを受入れる職場双方にとって働きやすい環境につながっていると評価されました。



学研グループの取り組み

世界中で感染が拡大した、新型コロナウイルス感染症という困難に立ち向かった、グループ各社の取り組みを紹介します。

出版による支援

■ 苦しむ受験生に向けて緊急出版！ 学研プラス

大手予備校講師5人のご助力を得て、学習の機会が制限されている全国の受験生を救うべく、大学受験向け学習参考書『ENGLISH BOOSTER 大学入試英語スタートブック』を緊急出版しました。

■ 1,677病院に書籍を寄贈 学研メディカルサポート

4月上旬、医療看護関連の学会や研修が軒並み中止となるなか、eラーニング契約病院1,677施設の院内教育に役立てていただくために、学研メディカル秀潤社の看護書籍と学研プラスの児童書を寄贈しました。

GLOBAL支援

■ WITHコロナの海外展開支援 アイ・シー・ネット株式会社

経済産業省の補助金を受け、日本企業のアフリカ展開をサポートする、オンライン展示会のサービスをスタートしました。

本事業での検証を通して、アフリカへの日本企業進出支援サービスを充実させていきたいと思っています。



オンラインでの支援

■ オンライン学習支援 学研ホールディングス、学研教育みらい、学研プラス

コロナ禍で休校措置となったことを受け、学研では家庭学習応援プロジェクトのWEBサイトをオープン。その一環として三社で連携して、人気絵本・読み物の読み聞かせ動画を公開。読み聞かせ担当は、編集者と学研教育みらい、学研プラスの社長。親子で少しでも楽しい時間を過ごしてほしいという願いをこめて収録しました。

■ オンラインセミナー開催 学研教育みらい 学校社会教育編集部

「不安を抱える児童生徒のケアがしたい」「ウェルビーイングや自己肯定感が大切っていうけれど、どうやって育てていけばいいのかわからない」という現場の先生方に向けて、Zoomセミナーを開催。“人生を最も価値のあるものにする”ポジティブ心理学の知見を活かした授業を提案しました。



■ サービスの提供を継続 医療福祉サービスセグメント

高齢者福祉事業、子育て支援事業ともにサービス提供を継続し、安心・安全な暮らしのサポートに全力を尽くしました。また、オンラインを活用した面会や保育など、新しい生活様式に対応した取り組みも積極的に行っています。

■ 科学工作ワークショップを実施 学研プラス 次世代教育創造事業部

過去2年間にわたり、日本精工株式会社(NSK)と共同で開催してきた「回転とまさつの科学」の科学工作ワークショップをオンラインで開催しました。



■ 保育者向けオンライン講習会実施 学研教育みらい 幼児教育編集部

毎年夏に開催されていた保育者向け講習会。今年はコロナ禍のなか、「ピンチをチャンスに」という思いから、従来の対面型からオンラインに変更して開催。8月にリモートで行われた井桁容子先生の講習会は、大盛況のうちに幕を閉じました。

■ 看護師向けオンラインイベントを開催 学研メディカルサポート

当社設立10周年を記念して全国3か所でのイベントをオンラインイベントに変更し、9月26日に開催。新型コロナウイルスに感染した梨田昌孝氏をゲストに迎え闘病体験を語っていただきました。また、参加者には事前に特製マグカップとお菓子をお送りし、一体感を高めてオンライン交流会も実施しました。

学研グループは、コロナ禍においてもサービスを提供し続けてまいりました。Withコロナ、Afterコロナに対しても、「コロナ禍後の復興は教育と医療福祉においてほかにない」という意気込みで取り組んでまいります。

新たな中期経営計画を発表

「Gakken 2023」 ～ 揺るぎない成長基盤の確立 ～



前 中期経営計画「Gakken 2020」の総括

2018年に「次代を拓くグループ力の結集」をスローガンとして策定した中期経営計画は、2020年9月期第2四半期までは、医療福祉分野によるグループの牽引や、教育分野での構造改革が進んだことから、業績目標の達成に向け順調に推移しておりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大によって大きく変化した生活行動様式は、当社グループの事業活動にも多大な影響を及ぼしました。

新型コロナ関連の特別損失や税金費用増などのため、修正計画には及びませんでした。収益構造や経営基盤での重点施策も奏功し、11期連続増収、6期連続増収増益を達成。表のように、一定の成果を上げることができました。

(単位：百万円)

	20年9月期 当初計画	20年9月期 修正計画	20年9月期 業績予想	20年9月期 実績	対修正計画 差異
売上高	140,000	143,000	141,000	143,564	+564
営業利益	5,000	5,100	4,600	5,075	△25
当期純利益*	3,300	2,800	1,950	2,321	△479

新 中期経営計画 「Gakken 2023」への取り組み

新中期経営計画は、コロナ禍あるいはその後の新常态への適応を前提とし、事業ポートフォリオ経営をさらに高度化し、デジタル・トランスフォーメーション(DX)を通じた付加価値と生産性の向上により収益力を高め、いかなる不確実性にも翻弄されない強固な礎を構築する決意から、中長期的な視座を持った成長投資を伴う3ヵ年計画の「**Gakken 2023**」とし、そのスローガンを「**揺るぎない成長基盤の確立**」と決めました。

中期経営計画の詳細は、当社IRサイトを参照ください。
<https://ir.gakken.co.jp/>

1 計画期間 2021年9月期から2023年9月期までの3ヵ年

2 経営数値目標 本計画最終年度 2023年9月期計画

(単位：百万円)

	20年9月期 実績	21年9月期 計画	23年9月期 計画
売上高	143,564	146,000	165,000
営業利益	5,075	5,600	7,500
当期純利益*	2,321	2,800	3,800
ROE	6.2%	6.5%	8.0%
配当性向	31.9%	29.1%	30.0%

(※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益)